

こんにちは。「歯科医」と「戸田歯科切り絵クラブ部長」、二足の草鞋を履く半井です。

今日は皆様に趣味の一環として「切り絵」の魅力についてお話ししたいと思います。

趣味として望ましい要素は①自分が楽しい・自分の役に立つ ②周りに喜ばれる ③お金がかからない ④やりたい時にすぐできる があります。「切り絵」はカッターナイフで黒紙から一つ一つパーツを切り抜いていく作業自体に地味な麻薬的心地良さがあります(特に滑らかに切れた場合)。手先の繊細さも要求され、トレーニング・頭の活性にも一役買うことでしょう。完成作品に愛着が湧くのも事実ですが、わりと私は気楽に人にプレゼントして喜ばれています。基本的に紙ですからそこまで惜しくないのです。実は作品をコンビニでコピーしておき、それを元にアレンジを加えれば、より上達した滑らかさと感動要素を持った作品が手元に残るのです。最低限必要なものはデザインナイフ(カッターナイフの細いもの)、カッター用下敷き、黒紙、白紙で2000円もあれば揃います。色紙や額(ダイソーで手に入ります)があれば尚良しです。家でできますのでお好きな時にいつでも始められます。

このように趣味の望ましい要素を高いレベルで満たしているのが「切り絵」です。更に「発展性」も大いにあります。色紙ではなく色和紙を用いれば色ムラのある味わい深い作品に変わります。どの色を組み合わせるか悩むのも楽しいものです。デザインそのものも、古今東西あらゆる先人達の芸術作品・自然の造形をお手軽に拝借できます。大まかに言うと、本の切り抜きでも写真でもいいのですが、コンビニで拡大白黒コピーし、それを黒紙に載せ、セロテープかホッチキスで固定、最も白いところから切り抜いていけばOKです。この持国天もそのように作りました。バランスの取れた美があるでしょう。経験的には線や面、白黒がハッキリしたデザイン(仏像や蝶、植物など)が適していると思います。そうこうする内に参考元になる芸術作品にも興味が出てきます。

最後にもう一つだけ切り絵の「凄さ」を伝えさせて下さい。皆さん周囲の物をご覧下さい。輪郭に黒い線がありますか?そう、無いのです!油絵は除きますが、一般的に私達が絵を描く場合、最初に輪郭を書きますのでそれが「立体感」を損なわせるのです!!

ところが「切り絵」は輪郭線がありません!!!

これがドキッと立体感を生んでいるのです!!!!
熱くなり過ぎましたのでこれくらいで「切り絵ワールド」の紹介を終わろうと思います。ありがとうございました。

